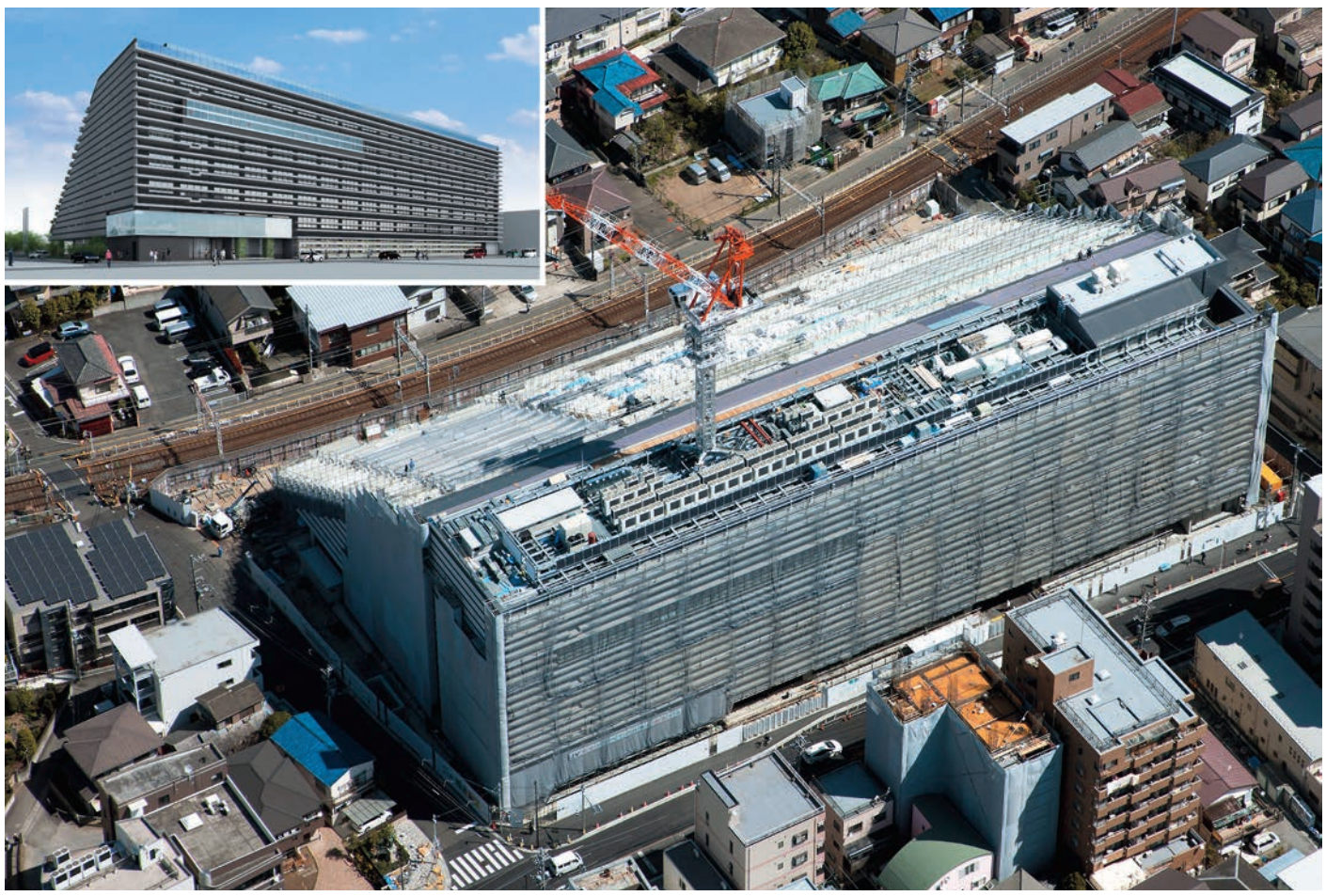
2月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日（定例会号）、1月1日（新年号）に発行します。

市川市

# いちかわ 市議会だより

2020年（令和2年）第243号
5月9日(土)
発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市南八幡2-20-2 ☎334−1111
http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1541000002.html



令和２年８月に一部開庁予定の市役所新第１庁舎（令和２年３月25日撮影）　左上：完成イメージ図

２月定例会

# 当初予算案などを可決

## 市長の施政方針などに各会派から代表質問

市議会は、令和2年2月定例会を2月19日から3月11日まで開催しました。

2月定例会では、初日に村越祐民市長が施政方針演説を、次いで田中庸惠教育長が教育行政運営方針演説を行いました。続いて、令和2年度当初予算案を含む市長提出議案等43件を一括議題とし、これに施政方針、教育行政運営方針を含めて、各会派が代表質問を行いました。また、議員からは、新型コロナウイルス感染症への対応に関する決議、市川市議会委員会条例の一部改正案等の発議3件及び議案第69号令和2年度市川市一般会計予算に対する修正案が提出されました。

本会議での採決の結果、市議会は、市長提出議案の30件をいずれも原案通り可決・同意し、諮問4件について異議ない旨答申しました。なお、議案第69号令和2年度市川市一般会計予算に対する修正案は否決されました。

また、市長からは、副市長の選任に関する追加議案も提出され、市議会はこれに同意しました。

議員提出議案については、条例案1件及び決議案1件を可決、決議案1件を否決しました。また、請願1件を採択、4件を不採択としました。

また、専決処分の承認を求める報告1件を承認した他、8件の報告がなされました。

（代表質問は2～5面、一般質問は6～7面、審議結果一覧は8面に掲載）

**新型コロナウイルス感染症への対応について**

市議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問をすべて取りやめる等、会期の短縮を図りました。

なお、6～7面では一般質問を予定していた議員の質問通告項目を掲載しています。

### ◆施政方針（要旨）

本市は、都市に貴重な自然が残る利便性の高い文教都市として発展してきており、日本の人口が減少する中で、本市の人口は増加し続けている。多様化する市民ニーズと行政サービスに対する期待に対応するため、本市では情報通信技術による価値転換（DX）に取り組んでおり、供用開始が近づく新第1庁舎では、窓口サービスを組織間で連携し、手続きを効率化・迅速化する。

（市政運営の基本方針）

(1)避難者に思いを込めて支援する　「常に備えよ。最悪を想定し、最善を尽くせ。」という気構えで市民の安全を守る。

(2)環境負荷軽減に参加する仕組みをつくる　持続可能な社会に対する新しい価値観を共有し、シェアリング・エコシステムに参加できる仕組みをつくる。

(3)文化を創出し心を豊かにする　本市の埋もれてしまいそうな文化や芽生えつつある新たな文化を育み広く発信していく。

(4)観光で人が集まり、まちが活性化する　観光資源に関わる様々な団体や企業が一体となり、本市の各組織と連携する仕組みを整える。

（将来都市像の実現に向けて―重要な施策）

(1)安心なまちづくり　子育て支援、待機児童対策、児童虐待対策、産後ケア、不妊治療費助成、障がい者支援、災害対策、水害対策、特殊詐欺対策など

(2)快適なまちづくり　斎場の老朽化対策、スポーツ環境の充実化、行徳野鳥観察舎の整備、小塚山公園の拡充整備、地域エネルギーの地産地消など

(3)活力のあるまちづくり　市川漁港の整備、産学官連携、起業支援、スマート農業の導入補助、地域文化・特産物のPR、観光振興ビジョンの策定など

### ◆教育行政運営方針（要旨）

平成31年1月に第3期市川市教育振興基本計画を策定し、令和元年度は、質の高い教育を目指した取り組みや、子どもの安全・安心を守るための取り組みを着実に進めてきた。今後も総合教育会議など様々な機会をとおして、市長と教育の方向性を共有しながら、教育行政の運営に努めていく。

（教育行政運営の基本方針）

令和2年度は、新学習指導要領が小学校にて全面実施となるが、本市では、小学校の内容の一部で既に先行実施している。今後は、中学校における全面実施にも目を向けながら円滑に着実に進めていく。また、人生100年時代を豊かに生きるためには、誰もが学び続けることが重要であることから、生涯を通じた学びとその基盤となる幼児教育や学校教育の軸を同じくして取り組みを進める。

（「人をつなぐ　未来へつなぐ　市川の教育」の実現に向けて―重要な施策）

(1)生涯を通じた学び　本などを通じた学びと交流の場の提供、図書館における開館日数の増及び地域資料のデジタル化、文化財の魅力発信など

(2)学校における学び　幼児教育の推進、特別支援教育の推進、外国語科やプログラミング教育の充実化、全校への無線LAN導入、健康教育の推進など

(3)教育環境の整備　塩浜学園の一体型校舎の整備、小中一貫教育の推進、院内学級の新校舎整備、ICTを活用した学習支援、教職員の働き方改革など

### ◆当初予算

当初予算は、一般会計が対前年度比2・7％増の1620億円、特別会計は、3会計を合わせて741億4100万円で同0・1％の減、公営企業会計の下水道事業会計は187億3500万円で同0・3％の減、総額では2548億7600万円、同1・6％の増となっています。

●議員からの寄附やあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）は公職選挙法で禁止されています●

# 代表質問

市川市議会では、年４回の各定例会で、交渉会派（所属議員数３人以上の会派）の代表による代表質問を行います。２月定例会の代表質問は、市長の施政方針、教育長の教育行政運営方針及び新年度予算を含む市長提出議案等を対象として行いました。ここでは、代表質問のうち、会派が指定した項目の主な内容を掲載しています。

※２月定例会の代表質問は２月 20 日に通告を締切り、２月 28 日から３日間の日程で行いました。

## 自由民主党

〔総括質問者〕細田　伸一
つかこしたかのり
中山　幸紀
かいづ　勉

### 新庁舎整備

**問**　令和元年８月下旬、市は新第１庁舎１・２階中央部への階段の追加設置を決め、建物の構造を変更した。そして、この階段は、火災等の不測の事態による避難時にも有効に機能するものと考えているとのことである。有事の際にも、庁舎内で市民の生命と安全が守られる状態であることは極めて重要だが、追加される階段は、具体的には避難時にどのように機能するのか。

**答**　新第１庁舎の当初設計においては、建築基準法等の関係法令で避難に必要な階段を建物両端の２カ所とした。そこへ更に、追加階段により中央部に動線を設けることで避難経路が増え、火災等が発生した際には、市民や職員の更なる安全確保に寄与すると共に、避難と救助の錯綜が少なくなることで、消防隊等のスムーズな救助活動にも繋がるものと考えている。なお、法的な検証については、避難安全検証法に基づく国土交通大臣の認定を取得する。

### 市長からのメッセージ

**問**　新第１庁舎１・２階中央部への階段設置には、多くの市民が関せているが、市長からの設置について十分がなされたとは言え況と考える。市は、転に合わせて、広報庁舎の特集号を発行定であるとのことだっと早い時期に、階置することにより得効果等について、市葉でメッセージを発きである。市の認識

**答**　市民に対しては予定している新庁舎号とは別に、広報紙ム記事等を用いて、身の言葉で階段設置え方について示して

### 戦没者追悼式

**問**　戦争の悲惨さと平和の大切さを後世に伝え、戦没者の霊を慰めるためにも、戦没者追悼式を継続し、次の世代へと継承していくことは極めて重要である。現在、追悼式は平日に開催されているが、より多くの若い世代が参加できるよう、休日に開催する等の工夫はできないか。また、教育委員会として、小中学校の児童生徒に追悼式の意義を伝え、保護者と一緒に参加するよう促すことは可能か。

**答**　戦没者追悼式は遺族の希望で平日に開催しているが、次世代への継承を考慮すると、若い世代が参加しやすい休日の開催は効果的と考えられ、今後、遺族会を含む関係団体との協議・調整を踏まえ検討していく。併せて、ボランティアとして運営を手伝ってもらう等、若い世代が参加できる方策も検討していきたい。また、追悼式は平和の大切さを認識できる行事である一方、教育の中立性確保の観点から、特定の平和事業等への児童生徒の参加は、学習活動の結果として、個人の意思で行うものと考えている。

毎年10月に開催される戦没者追悼式

## 無所属の会

増田　好秀
佐直　友樹
石原よしのり
〔総括質問者〕長友　正徳
秋本のり子
越川　雅史

### 新第１庁舎の中央階段

**問**　現在建設中の市役所新第１庁舎は、建物完成後に１階と２階の間の中央階段設置工事を行うため、令和２年８月に供用可能な部署から部分開庁するとのことである。しかし、８月部分開庁では台風シーズンに部署の分散が継続することとなり、業務の効率化や災害対応等の危機管理の観点から問題があるのではないか。階段設置工事は一度棚上げして８月に全面開庁し、３年後を目途に中央階段の必要性等についての評価を行った上で設置を検討すべきものと考えるが、中央階段を設置する必要性について、改めて市の考えを問う。

**答**　当該階段には、市民や職員等の動線として、ワンストップ窓口の補完、文化、経済あるいは市民活動の連携といった役割の他、将来的には１階と２階のフロア間の市民交流を促すための役割等がある。これらの役割は、今後50年を超えて使用される新庁舎において、将来にわたり庁舎機能を最大限に引き出すために必要であると考えている。

### 開発行為と緑地保全

**問**　最近、北国分２丁目の風致地区で地域のシンボルとして親しまれていた大木13本が、開発行為に伴う道路整備により伐採されてしまったが、その経緯はどのようなものか。また、こうした開発行為による緑地の減少を抑止するため、市が樹木医や学識経験者に委嘱している緑の調査専門委員等で構成される委員会を設置し、開発行為に伴い伐採されようとしている樹木を保全すべきか否かを調査・審議する制度を作るべきと考えるが、見解を問う。

**答**　北国分２丁目の為に伴う樹木の伐採ては、特に伐採を規法令がないことや台風等による倒木の危も勘案し、道路を整上でやむを得ないも断した。開発行為の保全は条例で定めいるが、樹林の保全する委員会の設置には、様々な課題を整と共に、各市の状況しながら対応する必るものと考えている

### 行政組織の改編

**問**　令和２年４月から政組織の改編では、の数が増える。組織すれば、それに伴い算も増加し、組織がしてしまうことからの改編においてはスクラップ・アンド・ビルドが原則であると考える。今後の人口減少社会に備え、成長から成熟へと舵を切るべき時代に、なぜ組織を肥大化させるような改編を行うのか。

**答**　今回の組織改編は、単純に整理統合するという視点の見直しではなく、政策の迅速かつ確実な実現に向け、急速な社会環境の変化や新たな行政課題にも迅速に対応できる、柔軟かつ機能的な組織を目指したものである。また、組織の新設だけでなく、必要に応じた切り分けや再編も行っており、肥大化との指摘は当たらない。今後は、経営方針に基づく民営化や民間委託等も継続しつつ、ＡＩやロボティクスを活用した業務の効率化にも一層注力することで、組織や職員数を適正に管理し、小さくて大きな行政を目指していきたい。

公共施設の屋上に設置された太陽光発電設備

### 避難所の太陽光発電設備

**問**　小中学校等の避難所における太陽光発電設備や蓄電池の設置については、東京都や仙台市、千葉市といった他の自治体が取り組みを推進する一方、本市の取り組みはあまり進んでいない。大型化する台風等に備え、速やかにこうした設備の避難所への設置を推進すべきと考えるが、現状及び今後の方向性について問う。

**答**　市は平成12年度以降、公共施設への太陽光発電設備の設置を進めている。30年度末現在で、避難所となる小中学校のうち15校に３kW以上の太陽光発電設備を設置しており、避難所の照明等を賄う規模ではないものの、校舎の照明等の電源の一部として利用している。今後は他の小中学校にも太陽光発電設備を導入する他、日差しがない状態でも電力の供給を可能にするため、蓄電池等の導入についても関係部署と協議していきたい。また、エネルギーの地産地消及び再生可能エネルギーの利活用を推進するため、本市のエネルギー施策の全体的な計画を令和２年度に策定する予定である。

# 代表質問

２月定例会では、８つの会派が代表質問を行いました。代表質問を行った会派の名称、発言順及び発言時間は次のとおりです。
公明党（180分）、創生市川（165分）、無所属の会（150分）、日本共産党（135分）、緑風会第１（120分）、自由民主党（120分）、市民の声を届ける会（105分）、緑風会第２（105分）
※発言時間は、答弁を含め、会派の均等割り時間60分に所属議員数×15分を加えた時間です。

## 市民の声を届ける会

〔総括質問者〕かつまた竜大　中町　けい　つちや正順

### パスポートセンターの増設

**問**　市は、市内2カ所目となるパスポートセンターを妙典地区に開設するため、令和2年度より準備を進めるとのことである。現在、交通等の利便性が高いJR市川駅南口の行政サービスセンター内にパスポートセンターが設置されているが、市内にセンターを増設することとした理由及び見込まれる効果について問う。

**答**　行徳地域には本市人口の約3分の1の市民が居住しているが、同地域の市民がパスポートを申請するには、市川駅南口や浦安市役所の窓口まで行かなければならない。また、市川駅南口のセンターは、利用者が増加傾向にあることに加え、2年9月末に船橋駅前のパスポート受取専用窓口が終了することで、更なる利用者の増加と混雑が懸念されている。このことから、東西線妙典駅前のイオン市川妙典店内にセンターを新設することで、行徳地域の市民の利便性向上と市川駅南口のセンターの混雑緩和等が図られ、市民サービスの向上に資すると考えている。

パスポートセンターが新設される予定のイオン市川妙典店
左上：市川駅行政サービスセンター内のパスポートセンター

### 生活保護受給者への支援

**問**　生活保護受給者の約半数を占め、今後も増加が見込まれる高齢の受給者を支援するため、市は令和2年度より、生活保護受給者訪問等支援事業として、就労指導を必要としない高齢者世帯への訪問等ケースワーク業務の一部を委託していくという。本事業の初年度における実施内容、及び本事業の実施により見込んでいる効果について問う。

**答**　本事業は、就労指導を必要としない高齢者世帯を訪問し、健康や生活状態等の見守りを行うもので、初年度は市内の高齢者世帯約3000世帯のうち、モデル地区の約600世帯を対象に実施する予定である。現在、高齢者世帯への訪問は平均で年3回程度だが、委託化により年間最大12回の訪問が可能となり、熱中症や孤独死の発生防止に有効であると考えている。また、委託化により市担当職員が65歳未満の就労可能な受給者のケースワークに時間を割くことができ、自立支援の取り組みが一層強化されるものと考えている。

## 創生市川

〔総括質問者〕金子　正
石原たかゆき
加藤　武央
岩井　清郎
〔補足質問者〕国松ひろき
稲葉　健二
松永　修巳

### ハザードマップ

**問**　令和元年の台風15号等により、本市でも家屋の損壊や農作物への被害が発生した。市は現在発行しているハザードマップを刷新するとのことであるが、刷新の具体的な内容を問う。また、ハザードマップを市民に配布するに当たり、市が重視する点は何か。

**答**　新しい水害ハザードマップでは、避難情報等の確認方法、備蓄や適切な避難方法、家族分の避難行動の作成方法、本市の水害特性等を記載した「冊子」と、避難所等を示した「マップ」を合わせた形に変更し、市民がより安全に避難できるよう見直しを図っている。また、ハザードマップの配布に際して最も重要な点は、市民が自らハザードマップを入手し、内容を確認するといった「気づき」を持ってもらうことと考えており、市としては、市民に「気づき」を持ってもらえるよう、ハザードマップの周知方法を工夫していく。

### 新クリーンセンター

**問**　現クリーンセンターは、竣工から25年が経過しており、延命化工事を実施した上で稼働している。老朽化による故障等を防ぐためにも早急な建て替えが必要であるが、現在は建設費の高騰等により建て替えを延期している状況である。クリーンセンターの建て替え時期について市の認識を問う。

**答**　建設費の動向については、毎年プラントメーカーより見積りを徴取し、把握に努めているが、建設需要の増加や建設業界における人手不足等により建設費の下落は見られない状況である。一方、令和元年に実施した精密機能検査では著しい老朽化や大きな損傷といった喫緊の課題は見受けられなかった。また、プラントメーカーと協議し2028年度まで稼働期間を延長できることを確認している。
建て替え時期については、建設費の動向と施設の老朽化等を総合的に勘案した上で決定したいと考えている。

クリーンセンター

### SDGsの認知度

**問**　SDGsは2030年までに持続可能な世界を目指すための国際目標であり、本市では環境施策や保健施策等、既にSDGsの理念に通ずる取り組みを実施しているとのことである。しかし、SDGsに関する市民の認知度はまだまだ高いとは言い難い状況である。そこで、認知度の向上に向けた市の認識について問う。

**答**　市が独自にSDGsの認知度に関する調査を行ったことはないが、新聞社が東京都や神奈川県在住の15歳から69歳の男女3000人を対象とした調査では、調査のたびに認知度の上昇、特に若年層の伸び率が大きくなる傾向がみられるものの、認知度自体は依然として低い状況にある。このため、市としては、SDGsの機運醸成を図ることが当面の課題と認識しており、SDGs未来都市への応募や市民がSDGsに関心を持てるような仕組み作りを行いたいと考えている。

### DX関連事業

**問**　近年、世界中の様々な分野でIT化が急速に進展しており、市役所の業務においてもこれに対応していくことは必須であると考える。本市では市長のリーダーシップの下、DX（デジタルトランスフォーメーション）関連事業に特に力を入れ、令和2年度当初予算にも多額の予算を計上している。そこで、予算計上に向けた積算の妥当性はどのように確保しているのか。

**答**　新年度のDX関連予算の計上に際しては、市公式Webサイトで情報提供依頼を行い、複数の企業から、本市が求める手法や費用に関する情報を取得した上で見積りを行っている。また、最新技術を活用した実証事業等については、国や他の自治体の事例等を参考に積算を行っている。加えて、民間での経験や専門知識を有する情報システム調達専門員及び財政担当部門の職員が、費用対効果の面から積算の妥当性を審査した上で、予算に計上している。

### 新第1庁舎の整備

**問**　市は、新第1庁舎の整備について、1階と2階を結ぶ中央階段の追加設置工事は行うものの、4階から7階に配置予定の部署に限り、当初の予定通り令和2年8月に開庁する方針を新たに打ち出した。その理由及び開庁予定日を問う。また、部分開庁では市民の混乱を招くおそれがあると考えるが、市の認識はどうか。

**答**　部分開庁とした理由は、元年12月定例会の決議を重く受け止めたためであり、8月下旬に開庁する方針である。開庁式典は8月25日を予定しており、この日は新しいことを始めるのに良いとされる「一粒万倍日」であること等から、今後50年以上使用する庁舎の開庁日にふさわしい日程と考えている。また、部分開庁の課題は、新第1庁舎と新第2庁舎に窓口が分散することで、市民がどちらの庁舎へ行けばよいのかわかりにくくなる点が挙げられる。そのため、市公式Webサイト等を活用し、市民に対し丁寧な周知に努めていく。

# 代表質問

## 日本共産党

〔総括質問者〕清水みな子　やなぎ美智子
金子　貞作
〔補足質問者〕廣田　徳子
髙坂　進

### 夜間の防災訓練

**問**　災害は昼夜を問わず発生するため、夜間の防災訓練を行うことで、いざという時に備えることができる。岡山県総社市では、自治会ごとに夜間訓練を実施し、それが非常に役に立ったという。本市においても、地域ごとに防災訓練が行われているため、夜間訓練の実施を呼びかけてはどうか。また、市の職員による夜間訓練も実施すべきと考えるが、市の見解を問う。

**答**　夜間訓練については、過去に避難所開設・運営訓練や災害ボランティアネットワークによる野営訓練等が行われている。また、地域でも自治会やPTA等が中心となり、幸小学校や八幡小学校で、体育館を使い、夜間の避難所体験訓練が行われているとのことである。こうした訓練は、熊本地震のように夜間に災害が発生した場合等の対策として大変有効であり、今後、地域住民に夜間訓練の実施も呼びかけていきたい。また、市職員による夜間訓練も重要であるため、まずは令和2年度、小学校区防災拠点要員や災害対策本部職員を対象に、参集訓練や施設開錠訓練、無線による情報連絡訓練等を行う予定である。

総合防災訓練の様子

### 児童虐待対策

**問**　市は、令和2年4月に虐待対策担当室を廃止して子育て支援事業等も兼ねた「こども家庭支援課」を新設するとのことだが、相談対応職員は子育て支援全般に対応することとなり業務量の増加が懸念される。児童虐待相談の件数と対応要員数の状況について問う。また、相談業務は心理的負担が大きく、児童相談所では、児童福祉司でうつ病等の精神疾患による休職者の割合が非常に高いと聞く。市は職員の要望等に耳を傾け、困難業務に向き合える体制を整備すべきと考えるが、どう取り組むのか。

**答**　元年度の本市の児童虐待相談件数は、2年1月末現在で延べ６６７２件、実人数は７７６人であり、実人数は前年度比で約1・6倍である。一方、相談対応職員も前年度の11人から元年度は17人に増やしているため、1人の職員が対応する相談件数は前年度と同水準となり、概ね必要な人数が配置されていると考えている。また、児童虐待相談業務については組織として今後も職員が管理職に相談しやすい環境整備を進め、負担軽減に取り組んでいく。

### 自殺対策

**問**　令和2年度には、これまで市が実施していた自殺対策事業の相談業務を外部委託するとのことである。市民への直接対応が必要な事業は、行政が一番大切にしなければならない市民サービスであり、これまでは市が実施していたからこそ、庁内各部署の連携がスムーズにできていたと考える。本業務委託の内容はどのようなもので、委託後の連携方法はどうなるのか。

**答**　本業務委託の内容については、24時間受付可能なWeb相談を実施する他、面接や電話相談は、休日を含め対応時間を延長する予定である。また、面接は市内に限らず、県内や都内等の多くのカウンセリング機関で受けられるようになり、現在より相談しやすい環境になると考えている。委託後は、委託先から相談実績の報告を受けるが、消防や警察等との連携が必要となるような特に緊急性の高いケースに対しては、委託先との連携を一層強化して対応していく。その他、庁内各部署との連携が必要なケースでは、現在と同様に健康支援課から各部署へ繋げることで、しっかりと連携を図り適切に支援していく。

住宅地近郊の農地

## 緑風会第２

〔総括質問者〕松井　努　石原みさ子
松永　鉄兵

### 第二東京湾岸道路の整備

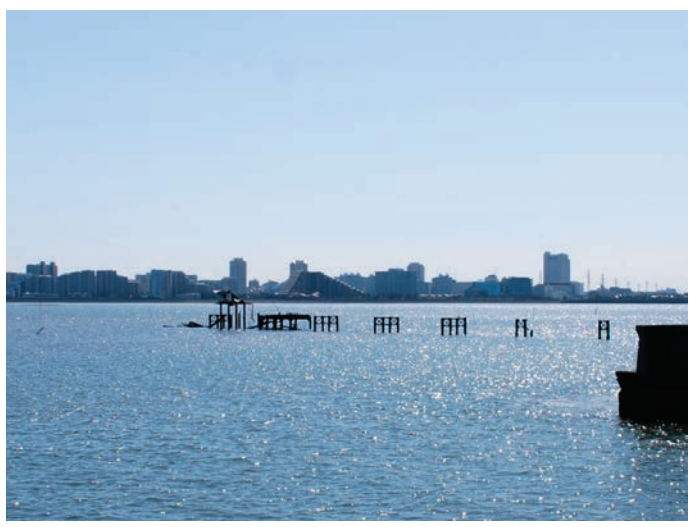
**問**　第二東京湾岸道路に関して、令和元年6月に市川商工会議所から県知事宛てに要望書が提出されている。この要望書は、都心方面と県内を結ぶ新たな高速道路である第二東京湾岸道路に係る国の建設計画が再始動したことを受けて、計画の策定に当たり第二東京湾岸道路の建設ルート上にある市川三番瀬の再生計画との整合性を確保しつつ、三番瀬の再生による整備効果が地域経済の発展にまで繋がるよう要望することを要望事項を踏まえて、第二東京湾岸道路の整備に対する本市の見解を問う。

**答**　第二東京湾岸道路については、平成6年に国が地域高規格道路の候補路線に指定しているが、前知事が三番瀬の埋め立て計画の中止を表明して以降、積極的な議論はされてこなかった。しかし、31年1月に現知事が国に対して、新たな規格の高い道路ネットワーク整備の早期具体化を要望したことから、検討が始まったところである。本道路の整備は、湾岸道路の慢性的な渋滞の解消策として期待されるものの、具体的なルートは、示されていない状況である。そこで、国や県に対し、十分な情報提供や説明を求めると共に、三番瀬などの周辺環境への配慮など、市の要望に配慮するよう求めていきたい。

### 湾岸道路の整備と三番瀬

**問**　また、第二東京湾岸道路の検討が再始動したことに伴い、そのルート上にある市川三番瀬がどうなるのかという問題も再浮上している。そこで、県知事に対する市川商工会議所の要望事項も踏まえ、本市の見解について問う。

**答**　三番瀬の人工干潟化等については、埋め立て計画を中止し三番瀬再生計画を策定した県の責任において行うものと考えている。また、埋め立てについては、新たな道路ネットワーク整備のルートや構造等の具体的な整備手法が国から示されていないことから、国や県における検討の動向を注視すると共に、本要望書や地元の意見等を踏まえ、慎重に見極めていきたい。


市川漁港から望む三番瀬（さんばんぜ）

# 代表質問

## 公明党

〔補足質問者〕西村　敦
小山田直人　久保川隆志
〔補足質問者〕中村よしお　浅野　さち
〔総括質問者〕宮本　均
大場　諭
堀越　優

### ＳＤＧｓ未来都市

**問**　ＳＤＧｓは、２０３０年までに持続可能な世界を実現するために各国が取り組む国際目標であり、我が国もＳＤＧｓの理念に沿って経済・社会・環境の３側面における新しい価値の創設に取り組む都市をＳＤＧｓ未来都市に選定し、地方創生を推し進めようとしている。ＳＤＧｓ未来都市に対する市の認識を問う。

**答**　本市は持続可能性というコンセプトを大事にしつつ、その先の考え方として環境に責任をもつということを打ち出している。その意味では本市もＳＤＧｓ未来都市の選定を早急に受けるべきであり、申請の準備を進めている。また、総合計画にＳＤＧｓの理念を最適な方法で取り込むことの審議会の建議を受け、これまでの施策とＳＤＧｓの関連付けを整理・検討していく。ＳＤＧｓは横断的な政策体系を有するため、総合調整機能を持つ企画部内に健康都市推進課を置き、健康都市における海外都市間の知見の共有や連携協力を活用しつつ、企画課、国際政策課の３課が協力して政策を進めていきたい。

持続可能な開発目標「ＳＤＧｓ」

### 高齢者の見守り支援

**問**　市は令和2年度から、高齢者見守り支援事業を民間警備会社に委託して新たに開始する。本事業は空間センサーからの自動通報による緊急時対応を含む24時間３６５日の見守りサービスや、万一の際に高齢者等の位置履歴情報を確認できるサービスであり、画期的な取り組みと評価できる。本事業の具体的な展開について、既存のあんしん電話設置等見守り事業との相違を含め、市の見解を問う。

**答**　あんしん電話設置等見守り事業と本事業は、どちらも65歳以上の高齢者等の見守りを目的とするが、サービスの内容については、前者がＮＴＴ固定電話設置者を対象とし、高齢者等からの通報を受け必要に応じて消防局への救急要請までを行うのに対し、後者は携帯電話各社に対応し、緊急通報時には警備員が駆け付け救護を行うといった違いがある。利用者には両者の料金やサービス内容を理解した上で、離れて暮らす家族の状況や認知症の心配の有無など、各家庭の事情に応じてサービスを選択してもらいたいと考えている。

## 緑風会第１

〔総括質問者〕竹内　清海
青山ひろかず　鈴木　雅斗
荒木　詩郎

### 教育環境の整備

**問**　教育機会確保法の施行から3年が経過するものの、不登校児童生徒の現状は依然深刻な状況が続いている。教育行政運営方針では、不登校児童生徒についてはＩＣＴを活用した学習支援を行うなど、登校だけを目指すのではなく社会的自立に向けた支援を行っていく旨が示されているが、支援の具体的な内容について問う。

**答**　令和2年度は、不登校児童生徒への学習支援とコミュニケーション能力の育成を二本柱としていく。学習支援では、自宅からもアクセスできるドリル学習ソフトの導入や角川ドワンゴ学園の「Ｎ予備校アプリ」の活用、コミュニケーション能力の育成では、異年齢の交流等の充実、職場体験の実施、社会人としてのマナーやルールの習得等を図りたい。なお、自宅での学習状況によっては出席扱いとできるよう、ガイドラインの策定を進めている。

### スマート農業の導入

**問**　市長は施政方針で「都市農業を発展させるためには、生産性向上に資する先進的な技術の活用が欠かせないことから、スマート農業の導入を補助することで、農作業の負担を軽減する」旨表明しているが、ロボット技術やＩＣＴを活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業であるスマート農業には、様々なものがあると考える。市としては、どのようなスマート農業の導入に対して補助を行うと考えているのか。

**答**　市としては、ＪＡいちかわ、市内の農業者等からの聞き取り内容を反映し、いわゆるロボット草刈り機等の購入に対し、費用の２分の１を補助することを考えている。ロボット草刈り機によって、農業者の作業負担が軽減すると共に、草刈り以外の作業に時間を使えるようになることから、人手不足の解消等にも効果があることを期待している。

### 災害対策と都市農地

**問**　千葉県は、今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率が日本で一番高いと予想されている。市は、地震発生時の一時的な避難場所として、学校の校庭や公園等を指定し、確保しているが、巨大地震発生の際には既存の避難場所だけで十分なのか疑問に感じている。そこで、住宅地に隣接する農地を避難場所として活用することについて、市の考えを問う。

**答**　地震による災害から身を守るためには、屋外の広い場所に避難することが大切である。従って、市街地に残された農地を災害時の避難場所として活用することは、市による指定避難場所を補完する意味でも非常に有効であると認識しており、ヘリポートなどの活用等も期待できると考える。今後は、農地所有者の意向も確認しながら、市民・農家双方のメリットを含め、調整を進めていきたい。

### 文化会館の大規模改修

**問**　文化会館は、開館から30年以上を経て老朽化が進み、バリアフリー化や機能向上といったニーズに対応するため、令和2年度から大規模改修を行うとのことである。工事の内容とスケジュール、工事期間中の利用者への配慮について問う。

**答**　今回の改修工事では、大小ホールやエントランス等の特定天井の脱落防止対策、電気・空調配管等の設備や建具等の経年劣化対応、機能性・利便性の向上に向けたバリアフリー対応のためエレベーターの新設や段差の解消、トイレの増設、客席の交換等を行う。期間は令和2年10月から4年3月末までの約1年半を予定している。大ホールの上下階の昇降はこれまで階段のみであったが、ホワイエ内にエレベーターを新設することで、地下1階から舞台側に近い席への移動が可能となる。また、大小ホールの客席については、利用者が快適に観覧できるよう席幅を広げるため、座席数は若干減少する。工事期間中は休館となるため、全日警ホールや行徳文化ホールＩ＆Ｉ等の利用について検討をお願いしている。

### 教育環境の整備

**問**　市は教育行政運営方針の中で、避難所環境整備事業として屋内運動場トイレの改修、公民館トイレの修繕及び屋内運動場の冷暖房設備の設置を挙げているが、各事業の詳細について問う。また、適応指導教室運営事業について、現状と課題、及び開室日を週3日から週5日に拡大した理由は何か。

**答**　小中学校の体育館及び公民館は、災害時には避難所という大きな役割を担う。昨今は大規模災害の頻発で避難所の開設頻度が増えている他、記録的な猛暑もあり、児童生徒や避難者の健康や良好な生活環境を維持するため、トイレの洋式化等や、体育館のエアコン設置を計画的かつ早急に行うこととした。体育館のトイレは年間10校程度、エアコンは年間6校程度を、公民館のトイレは令和2年度に7カ所を整備する。また、適応指導教室に通う児童生徒数は42名であり、必要な支援を行っているが、学習の積み重ねや個々の状況に対応できるきめ細かな体制の整備が課題である。開室日については、毎日の開室が児童生徒の社会的な自立心を育むことに資するものと考え、週5日に拡大した。

### 私立幼稚園・保育園の支援

**問**　幼児教育・保育の無償化に伴い、市は新年度から私立幼稚園給食費補助金及び私立保育園等副食費支援負担金の交付を開始する。両事業の概要及び保護者が行う手続きについて問う。

**答**　私立幼稚園給食費補助金は、子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園に在園する年収３６０万円未満相当世帯及び小学校3年生までの子どもから数えて第3子以降の場合を対象に、給食費のうち副食費の部分につき、月額４５００円を上限として補助するもので、保護者が行う手続きとしては、いったん副食費を幼稚園に支払った後、必要書類を市に提出して償還を受ける形となる。また、私立保育園等副食費支援負担金は、施設が実費徴収する副食費について、これまで市の保育料軽減制度の対象であった世帯が、保育料の無償化に伴い、国の免除制度の対象とならないため逆に負担が増えることがないよう市が支援を行うもので、保護者の手続きは私立幼稚園給食費補助金と同様に償還払いとなる。

# 一般質問の通告項目

今回の２月定例会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応として、全ての一般質問を中止しました。
ここでは、一般質問を予定していた18人の議員の質問通告項目を掲載します。

（掲載は通告順）

## やなぎ美智子　議員（日本共産党）

○介護事業所の人材確保について
⑴本市の介護事業所における昨年中の倒産・縮小・事業変更の件数とその主たる要因
⑵介護事業所からの人材確保に関わる相談件数と支援の取り組み
⑶休館中の地域密着型特養ホームの現状と今後の見通し
⑷本市の外国人介護労働者の就労者数と今後の見通し
⑸ケアマネジャーの就労者数・研修受講状況・試験延期に伴う問題
○重度心身障害者（児）医療給付改善事業の制度改正について
・精神障がいへの対象拡大に対する本市の対応
○ジェンダー問題について
⑴性被害者支援
ア．本市の支援体制の現状と課題
イ．性暴力・性犯罪の相談体制の現状と体制確立に向けた今後の取り組み
ウ．24時間365日ホットラインでワンストップの相談窓口を設置する考えについて
⑵女性のためのあらゆる相談・配偶者暴力相談支援センター
・相談体制の現状と課題
⑶女性が世帯主である世帯の生活保護受給者の実態について
ア．受給者数及び受給理由の傾向　　イ．自立支援の取り組み
○公共下水道整備について
・整備が遅れている地域の現状と課題
○小栗原架道橋脇の歩道橋建設について
⑴計画概要　　⑵バリアフリーへの配慮　　⑶船橋市との連携

## 堀越　優　議員（公明党）

○新型コロナウイルスによる感染について
⑴感染の状況について　　⑵国・県と連携を密にしたリアルタイムの情報発信について
⑶相談窓口の開設と正しい情報の周知啓発徹底について
⑷市内で感染者が出た場合の対応、手順の明確化について
⑸本市の体制と取り組み内容について
○り災証明書について
⑴昨年の台風被害による、り災証明書の交付状況について
⑵本年1月に開始したオンライン申請の内容について
○私道整備について
⑴市内の私道の現状について　　⑵現在の私道整備の助成方法について
⑶私道整備助成制度の利用状況と効果について　　⑷私道整備助成制度の周知について
○千葉県立現代産業科学館の移譲について
⑴現在の県との調整の状況について　　⑵利活用に関する市の考えについて
⑶今後の動向について

## 石原みさ子　議員（緑風会第２）

○発達に課題のある子どもへの切れ目のない支援について
⑴これ迄の取り組みの成果　　⑵施政方針で示された体制整備の内容
⑶今後の取り組みと課題
○観光行政について
・市川市をＰＲできる人材の創出について
○幼児教育について
⑴市川市の目指す幼児教育の考え方　　⑵相談窓口の増設について
⑶特別に支援を要する子どもの入園について
⑷学校教育とのスムーズな連携について
⑸課題と今後の取り組み

## 久保川隆志　議員（公明党）

○子育て期の支援について
⑴ブックスタートの導入について　　⑵親子つどいの広場の拡充について
○特別養護老人ホームの拡充について
⑴これまでの開設状況について
⑵待機者数の現状と介護人材確保の課題について
⑶今後の整備計画について
○道路整備と安全確保について
⑴都市計画道路3・4・18号の検証と安全対策について
⑵狭い歩道の安全対策について

## 浅野さち　議員（公明党）

○真間川・高谷川・旧江戸川の管理について
⑴護岸の管理、対応についての市の認識を伺う
⑵通行止めしている高谷川の無名橋の対応について
○道路行政について
⑴バス交通に関する利便性向上について
ア．発着地の千葉県立現代産業科学館にあるバス停に屋根を付けることはできないか
イ．妙典橋を利用したバス路線について
⑵鬼高3丁目15番地先交差点、また、鬼高3丁目13番地先交差点の安全対策について
⑶妙典橋に向かう市川南ＩＣ南付近の県道船橋行徳線の交通量が多く渋滞しているが、市の認識を伺う
○思いやり窓口の取り組みと新庁舎におけるお悔やみ窓口の方向性について
○障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らす為の支援について
⑴基幹相談支援センターの相談件数及び取り組みについて
⑵障害者虐待防止センターの取り組みについて
⑶日中活動の場及びグループホームの現状について

## 髙坂　進　議員（日本共産党）

○小中一貫教育について
⑴塩浜学園を作った狙いと現在までの成果
⑵保護者や地域の方々と塩浜学園の成果などについてどのように対話し、確認してきたのか
⑶教育行政運営方針で「新たな組織のもと、小中一貫教育を推進してまいります」とあるが、今までの経過と塩浜学園で蓄積してきた成果との関連について
○無料低額診療での薬代補助制度について
⑴無料低額診療での薬代の支払いが困難となっている人への現在の対策
⑵無料低額診療での薬代補助制度を作った場合に必要となる財源はいくらか
⑶無料低額診療での薬代補助制度を作る考えについて
○消費税率を10％に引き上げてからの地域中小企業者対策について
⑴消費税率の引き上げに伴いどのような対策を行ってきたのか
⑵対策の効果、課題について　⑶今後の方向性について
○民間委託事業について
⑴市の事業の民間委託の現状と考え方について
⑵生活保護受給者訪問等支援事業、生活保護受給者健康管理支援事業、生活保護受給者自立支援事業などの事業内容と民間委託とする理由

## 鈴木雅斗　議員（緑風会第１）

○市川市のコロナ対策並びに熱中症対策
⑴市の施設すべてにできる限り飲料水タンクと紙コップを設置し、うがいなどをできるような環境にできないか伺う
⑵また夏期に同品目を設置し、それに麦茶や氷などを追加し、熱中症対策の飲料水として提供できないか伺う
○新庁舎の活用について
⑴漫画、特にこちら葛飾区亀有公園前派出所やはだしのゲン等を全巻置くことについて
⑵ＶＲを設置し、みんなのゴルフ等のゲームを来客者に体験させることについて
⑶記者会見場をレンタル撮影スタジオにし、YouTuberなどを誘致、市長とコラボさせることはできないか伺う　　⑷庁舎のセキュリティーについて
ア．記憶媒体の処理方法について
イ．セキュリティーが担保された場合の休日の庁舎利用について伺う
○クリエイティブ枠採用の職員について
⑴どのような特技をもった職員を採用したか伺う　⑵当該職員の今後の運用について伺う
○待機児童対策について
・マンションの集会室を利用する一時預かりに関して伺う
○敬老祝金の見直しに関して
○生涯学習について
⑴公民館等の施設を勉強スペースとして開放することについて伺う
⑵公民館主催講座の夜間講座の実施状況について
⑶今後の改善について
○プラ可燃混焼実現について
・市長はどれだけ市川市内のプラスチックが削減できれば「やる」と明言するのか。それを実現するための具体的施策について伺う

## つかこしたかのり　議員（自由民主党）

○危険生物（虫・動物・植物）の対応や駆除について
・危険な昆虫、人の生活や財産に被害をもたらす野生動物、人体に有毒な植物に対して、どのような対策を講じているのか。また、私立の保育園や幼稚園、小中学校においても所有者が駆除すべきと考えているのか見解を伺う
○ウイルスへの対応について
・新型コロナウイルスなど目に見えないウイルスに対して、どのような感染対策を行うのか
○消防団使用の建物及び備品について
・各分団が使用している老朽化した建物の建て替えについての計画を問う。また、建て替えについては地域の特性や事情をどのように反映しているのか
○市川市の建築基準法令審査基準における申請から許可処分について
・申請から許可処分について、本市は期間が長く、手続きも他市と比較して厳しいと聞いている。建築には一定の確認機能を設けることは必要と考えるが、過度なものは手続きが煩雑になるだけでなく、活発な経済活動を抑制してしまうと考えるが、本市の見解を伺う
○道路側溝整備等における水害対策について
・道路側溝の老朽化や地盤沈下等による勾配不良などで大雨の時には排水溝で雨水があふれ、道路が冠水している。このような現状に対して、どのように改善を図るのか伺う
○国分川鯉のぼりフェスティバルについて
・実行委員の一部の方々より、書類の申請面など、もう少し手厚い協力を望まれる声を聞く。このような要望に対する見解を伺う
○子ども医療費助成制度について
・保険診療の自己負担を100円減らし、浦安市や松戸市と同額にすることはできないか伺う
○幼児教育・保育の副食費の実費徴収について
・幼児教育・保育無償化に伴い、副食費を実費徴収することとなったが、従前の保育料に対して適用のあった18歳未満の子どもが3人以上いる世帯への無償化を適用できないか伺う
○新第1庁舎における階段の追加工事について
・天災や人為的な攻撃から、人の命を守るという観点で階段の有効性を伺う。また、現状では追加工事に対して市民の理解を得ているとは言い難いと考える。このような状況をどのように受け止め、改善を図るのか見解を伺う

## 金子貞作　議員（日本共産党）

○民生委員・児童委員について
・民生委員・児童委員の現状及びあり方について
○市営住宅について
・自治会の現状及び共益費など入居者の負担のあり方、徴収について
○地域のまちづくり支援について
・地域担当職員を配置し、支援を検討できないか
○教育行政について
・返済の要らない本市独自の奨学金制度の拡充
○ＬＥＤ化の促進について
・ガイドライン作成及び街路灯の維持管理のその後について
○障がい者雇用の促進について
・本市の障がい者雇用の現状及び雇用計画策定の考えについて

## 佐直友樹　議員（無所属の会）

○受信機の増減による本市とＮＨＫとの放送受信契約について
⑴受信機の増減による本市とＮＨＫとの放送受信契約はどのようにして行われているのか
⑵令和元年度からの契約方法の変更点及びその理由
○受信料免除申請手続きについて
⑴受信料免除対象になっている市民の免除申請手続きはどのようにして行われているのか
⑵令和元年度からの免除申請方法の変更点及びその理由
○特殊詐欺に対しての防犯の取り組み及び悪質商法への対応について
⑴本市は特殊詐欺及び悪質商法に対してどの様な取り組みをしているのか
⑵課題と今後の取り組み
○消防車両に設置されているカーナビのＮＨＫとの放送受信契約について
⑴消防車両に設置されているカーナビの放送受信契約が未契約である経緯及び理由
⑵以前、一部消防車両のカーナビにつき行っていた契約について　⑶今後の対応

## 大場　諭　議員（公明党）

○地方自治法等の一部を改正する法律（平成29年法律第54号）について
・地方公共団体における適正な事務処理等の確保並びに組織及び運営の合理化を図るための内部統制及び監査制度の充実強化について
ア．本法律に対する市の対応について　イ．内部統制に関する方針の策定等について
ウ．本市の内部統制体制の組織マネジメントとＰＤＣＡサイクルの現状と今後について
エ．民間事業者への業務委託に係る内部統制のＰＤＣＡサイクルについて
①検討、予算申請・承認、調達・契約締結、実施、評価・監査の各プロセスでのコンプライアンスについて
②委託業務に伴うリスク程度に応じた受託者のリスクマネジメントについて
オ．委託先の調達における適切な調達種類・調達様式の整理方法の確保について
カ．契約事務におけるコンプライアンスの確保（情報管理・漏洩への対策、内部通報）について
○災害廃棄物処理について
⑴災害廃棄物のリサイクルに関する本市の取り組みについて
⑵災害廃棄物処理における市内資源の活用について
⑶「東松島方式災害がれき処理」の導入について

## 越川雅史　議員（無所属の会）

○2月25日時点において、本市でも新型コロナウイルスの感染者が複数確認されている。そこで、質問日時点における市内での感染者の状況及び感染拡大を防止するための対策の実施状況、爾後の見通しについて伺う
○言うまでもないことではあるが、議場及び記者会見、タウンミーティング、ツイッター等における市長の発言は重みをもつ。村越市長においては「我々は文教都市ですから、そういう肉とか魚をもらうために、そういうさもしい根性でふるさと納税…（後略）」、「義務教育程度の読解力がある方が新聞をお読みになれば、御指摘のような話ではないというふうに理解いただける」、「（千葉日報の記事は）便所の落書き程度」などと自由奔放な発言が目立ち、これらが問題視されても修正せずに今日に至っているが、果たしてこれら発言に修正すべき点はないのか伺う
○本市におけるふるさと納税の現状と市長の認識について
○スーパーシティ構想に関する市長の認識について
○新第1庁舎建設工事に関する現状と今後の課題、市長の認識について

## かいづ　勉　議員（自由民主党）

○エストニア共和国とパルヌ市との市川市の今後の交流の目的は
○行徳地域におけるパスポートセンター設立はどのような方向なのか
○市川市真間2丁目19番地先の道路境界は昨年の9月定例議会で確定されたとのご答弁でしたが、その後の進捗状況は
○昨年9月定例会でシルバー人材センターと本市の行政のかかわり方について質問をしましたが、その後の行政のチェックは行われたのか

## 小山田直人　議員（公明党）

○防災行政について
⑴民間事業者等との連携について
ア．地域コミュニティ放送（市川うらら７Ｍ）の活用による防災無線情報の発信について
イ．要配慮者の把握と情報共有及びタクシー協会との連携による避難支援について
ウ．災害時協力井戸の積極的活用について
エ．東京アンテナ工事株式会社との協定について
オ．外国人避難者に対する災害情報の提供について
カ．災害時医療支援における、千葉県臨床検査技師会との連携強化について
⑵避難所対応について
ア．避難所と地元自治会における備蓄品情報の共有について
イ．避難所情報の見える化について
ウ．大雨発生時における、校庭貯留を行う避難所の開設について
○教育行政について
⑴小学校の入学準備に係る本市の支援について
ア．新入学児童生徒援助費の内容及び現状について
イ．公立小学校入学準備時にかかる費用について　ウ．今後の拡充について
⑵ヘルシースクール推進事業について
ア．小児生活習慣病予防検診（すこやか検診）の内容及び現状について
イ．健診結果と検診後の対応について　ウ．今後の課題について

## 青山ひろかず　議員（緑風会第１）

○行徳のまちづくりについて
⑴地域コミュニティゾーンの整備について伺う
⑵消防施設の整備について伺う
⑶行徳支所の建て替えについて伺う
○台風等による洪水・内水対策について
⑴大雨時における旧江戸川堤防の安全性について
⑵行徳地域における内水氾濫対策について
○マンション管理強化に向けた管理組合等への補助金交付について
⑴自民党「中古住宅市場活性化小委員会」はマンションの適正な管理実現に向けて、国や地方公共団体の役割を明記すべきと求めているが、本市の見解を伺う
⑵管理組合による適切な維持修繕の実施が行われるような環境整備が求められているが、本市の見解を伺う

## 大久保たかし　議員（市川未来50年の会）

○資源回収について
⑴集団資源回収の現状について
⑵事業者への委託料について
○商店街活性化について
・商店等への支援事業について
○幼稚園類似施設について
・本市が保護者に補助金を交付している幼稚園類似施設の現在の状況及び今後の対応について

## 稲葉健二　議員（創生市川）

○市の文化芸術振興について
⑴現在の状況、課題について
⑵市が考える今後の方向性について
⑶文化会館の改修工事について
○健康都市について
⑴市が考える健康都市について　⑵施策の考え方について
⑶他市との連携、市民の交流及び協働事業について　⑷健康都市推進員について
○放課後の児童の居場所について
⑴現状と課題について　⑵放課後保育クラブについて
⑶ビーイング、放課後子ども教室について　⑷民間を含めたその他の事業について
○新庁舎建設について
⑴庁舎周辺の整備について　⑵庁舎周辺の動線について
⑶供用開始後の近隣への対応について　⑷現在の執務室の供用開始後の計画について

## 石原たかゆき　議員（創生市川）

○子どもの体力向上について
⑴子どもの体力向上を目指した学校の取り組みと現状及び今後について
⑵学校外で子どもがスポーツをする場や機会の現状と取り組み及び今後について
○公共施設等総合管理計画と学校の建て替えについて
⑴公共施設等総合管理計画の前提条件と現状の乖離について
⑵公共施設等総合管理計画の学校の評価指標について
⑶学校の建て替えの考え方と進め方について

# 特別委員会の視察

## 東京外郭環状道路に関連する特別委員会

【日　程】
令和２年１月23日～24日
【視察地及び視察項目】
・松山外環状道路（松山市）
・花園町通りにおける各種取り組み（松山市）
・道の駅「天空の郷さんさん」における防災拠点施設としての活用（久万高原町）

松山外環状道路

【主な視察内容】
松山外環状道路の開通により、並行路線では渋滞緩和や交通事故の減少等、安全性が向上した。花園町通りは、公民学の連携によるリニューアル整備で歩行者数が約２倍に増えた。道の駅「天空の郷さんさん」は、休憩、情報発信、地域連携の他、愛媛県内初の本格的な防災機能を備えている。

## 行徳臨海部に関連する特別委員会

【日　程】
令和２年１月22日～23日
【視察地及び視察項目】
・豊前市　海業支援施設「うみてらす豊前」
・下関市　下関港ウォーターフロント開発事業

下　関　市

【主な視察内容】
豊前市では、１階に直売所、２階に漁師食堂を持つ海業支援施設「うみてらす豊前」を整備し、漁業所得の向上や漁業集落の活性化を図っている。下関市では、「癒しと賑わい空間の創出」を目指したウォーターフロント開発に着手しており、その第一段階としてホテル建設事業を進めている。

# 議会運営委員会の視察

【日　程】
令和２年１月28日～30日
【視察地及び視察項目】
・大津市　通年議会による議会運営
　議会ＩＣＴ事業の推進
・八尾市　議会広報
　予算・決算常任委員会の設置（運営）等
・長浜市　議会改革の取り組み
　議会だよりの編集

大　津　市

【主な視察内容】
大津市では、突発的な事件や緊急の行政課題に対応できるよう、定例会を年１回、会期をほぼ１年間とする通年議会を導入している。八尾市では、高校生とコラボした市議会だよりの作成等、若い世代にも議会に興味・関心を持ってもらうために、さまざまな取り組みを行っている。長浜市では、議会基本条例を策定し、予算常任委員会の設置や業務継続計画の策定等の議会改革を推進している。

## 人事議案

２月定例会には、市長から、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任及び副市長の選任についての議案計４件が提出され、議会はこれら４件をいずれも同意しました。

**教育委員会委員**　島田　由紀子
**固定資産評価審査委員会委員**　塚田　孝久
芳村　則起
**副市長**　大津　政雄

（敬称略）

（審議結果は左表）

## 請願

２月定例会には、新たに請願５件が提出され、所管の各委員会で審査しました。

議会は、このうち１件を採択、４件を不採択としました。

（審議結果は左表）

### 市川市新庁舎の当初予定通り７月完成、８月開庁を求める請願（要旨）

市川市の本庁舎建て替え工事は、令和２年７月完成、８月開庁となることが、令和元年８月６日の地元説明会で報告された。しかし、同月の市議会の各派代表者会議にて、１階と２階の間に階段を設置するための追加工事により、完成時期及び開庁時期を延期するとの報告があった。当該追加工事による、開庁の延期及び工事関係費用の支出に対し多くの地元地域は受け入れ難く思っている。

３年以上にわたる工事は、日々大型の重機等が稼働することで、地元地域は騒音、振動に悩まされている他、人通りが少ないため、商店各店舗も売り上げ減少に耐えて頑張っているのが現状である。

市川市はもとより、地元地域のためにも、当初の予定通り、令和２年７月完成、８月開庁を実現するよう、地元地域８自治町会長、３商店会長は請願する。

## 議案等の審議結果一覧

| | 件名 | 公明党 | 創生市川 | 無所属の会 | 日本共産党 | 自由民主党 | 緑風会第1 | 市民の声を届ける会 | 緑風会第2 | 市川未来50年の会 | 市民の風 | 審議結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ○市長提出 | | | | | | | | | | | | |
| 議　案 第52号 | 市川市行政組織条例の一部改正について | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 53号 | 市川市公文書等の管理に関する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 54号 | 市川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 55号 | 市川市行政不服審査法の施行に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 56号 | 市川市特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 57号 | 市川市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 58号 | 市川市森林環境譲与税基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 59号 | 市川市手数料条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 60号 | 市川市印鑑条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 61号 | 市川市自治会等を応援する条例の制定について | ○ | ○ | △ | × | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 62号 | 市川市東山魁夷記念館の設置及び管理に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 63号 | 市川市行徳野鳥観察舎の設置及び管理に関する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 64号 | 市川市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 65号 | 令和元年度市川市一般会計補正予算（第5号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 66号 | 令和元年度市川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 67号 | 令和元年度市川市介護保険特別会計補正予算（第4号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 68号 | 令和元年度市川市下水道事業会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 69号 | 令和2年度市川市一般会計予算 | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ー | ○ | 可　決 |
| | 令和2年度市川市一般会計予算に対する修正案 | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | 否　決 |
| 70号 | 令和2年度市川市国民健康保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 71号 | 令和2年度市川市介護保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 72号 | 令和2年度市川市後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 73号 | 令和2年度市川市下水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 74号 | 市川漁港係留輸送施設工事請負変更契約について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 75号 | 財産の減額貸付について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 76号 | 財産の減額貸付について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 77号 | 市道路線の廃止について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 78号 | 市道路線の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 79号 | 教育委員会委員の任命について（島田由紀子氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同　意 |
| 80号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について（塚田孝久氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同　意 |
| 81号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について（芳村則起氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同　意 |
| 82号 | 副市長の選任について（大津政雄氏） | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同　意 |
| 諮　問　第2号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（増田進氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可答申 |
| 3号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（三木祥史氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可答申 |
| 4号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（鈴木郁夫氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可答申 |
| 5号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（川添茂氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可答申 |
| 報　告 第36号 | 専決処分の承認を求めることについて | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 承　認 |
| ○議員提出 | | | | | | | | | | | | |
| 発　議 第39号 | 新型コロナウイルス感染症への対応強化を求める決議について | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | 否　決 |
| 40号 | 新型コロナウイルス感染症への対応に関する決議について | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| 41号 | 市川市議会委員会条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可　決 |
| ○請　願 | | | | | | | | | | | | |
| 請願第1-10号 | 種苗法改正の取りやめを求める意見書の提出を求める請願 | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | × | 不採択 |
| 1-11号 | 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願 | × | × | ○ | ○ | × | × | △ | × | × | × | 不採択 |
| 1-12号 | 市長部局の組織改編について、「男女共同参画」の名称を残すことを求める請願 | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | 不採択 |
| 1-13号 | 真間二丁目の手児奈橋公園、真間三丁目の桜土手公園を都市公園としての供用の復活を求める請願 | × | × | △ | ○ | × | × | × | × | × | × | 不採択 |
| 1-14号 | 市川市新庁舎の当初予定通り7月完成、8月開庁を求める請願 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 採　択 |

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、反対：X、欠席：ー、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
※可答申：異議ない旨答申
※議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

### 市川市議会委員会条例の一部改正案を可決

市議会は、広報室及び観光部の新設を定める市川市行政組織条例の一部改正を受け、常任委員会の所管事項を改める市川市議会委員会条例の一部改正案を発議し、全会一致でこれを可決しました。

### ○令和２年定例会開会予定日○

| | |
|---|---|
| ６月定例会 | ６月12日（金） |
| ９月定例会 | ９月４日（金） |
| 12月定例会 | 12月４日（金） |

※上記は予定であり、事情により変更される場合があります。

### 会派別議員名簿（定数42名）

**公明党**
○西村　敦
久保川　隆志
小山田　直人
浅野　さち
中村　よしお
宮本　均
大場　諭
堀越　優

**創生市川**
○金子　正
国松　ひろき
石原　たかゆき
稲葉　健二
加藤　武央
松永　修巳
岩井　清郎

**無所属の会**
○増田　好秀
長友　正徳
佐直　友樹
秋本　のり子
石原　よしのり
越川　雅史

**日本共産党**
○清水　みな子
やなぎ　美智子
金子　貞作
廣田　徳子
髙坂　進

**自由民主党**
○細田　伸一
つかこし　たかのり
中山　幸紀
かいづ　勉

**緑風会第1**
○竹内　清海
鈴木　雅斗
青山　ひろかず
荒木　詩郎

**市民の声を届ける会**
○かつまた　竜大
中町　けい
つちや　正順

**緑風会第2**
○松井　努
石原　みさ子
松永　鉄兵

**市川未来50年の会**
○大久保　たかし

**市民の風**
○小泉　文人

※○は会派代表者。　※市議会では会派制をとり議会活動を行っています。なお、所属議員３人以上の会派を、議会運営委員の選出などができる交渉会派としています。
※この会派別議員名簿は２月定例会現在のものです。

**●議員からの寄附やあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）は公職選挙法で禁止されています●**